臨床調査個人票

	新規	更新
_	7171794	<i>\</i> 1/1/1

## 265 脂肪萎縮症

行政記載欄

受給者番号			判定結果	□ 認定	□ 不認定	
■ 基本情報						
姓 (かな)			名 (かな)			
姓 (漢字)		名 (漢字)				
郵便番号						
住所						
生年月日	西暦	年	月		日 *以降、数字は右詰めで記入	
性別	□ 1. 男	□ 1. 男 □ 2. 女				
出生市区町村						
出生時氏名	姓 (かな)			名 (かな)		
(変更のある場合)	姓 (漢字)			名(漢字)		
	□ 1. あり		2.なし		□ 3. 不明	
	発症者続柄					
	□ 1. 父	<u> </u>	母	□ 3.子	□ 4. 同胞(男性)	
字指展	□ 5. 同胞	(女性)	□ 6.祖父(	父方)	□ 7.祖母(父方)	
家族歴	□ 8. 祖父	□ 8. 祖父 (母方) □ 9. 祖母 (母方) □ 10. いとこ				
	□ 11. ₹0	□ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入				
	続柄					
発症年月	西暦	年	Д			

社会保障					
介護認定	□ 1. 要介護	□ 2. 要支援	□ 3. な	2L	
要介護度		3	4	<u> </u>	
生活状況					
移動の程度	<ul><li>□ 1.歩き回るのに問題</li><li>□ 3.寝たきりである</li></ul>	はない	] 2. いくらか問題が	ある	
身の回りの管理	<ul><li>□ 1. 洗面や着替えに問</li><li>□ 3. 自分でできない</li></ul>	題はない	] 2.いくらか問題が	ある	
ふだんの活動	<ul><li>□ 1.問題はない</li><li>□ 3.行うことができな</li></ul>		] 2. いくらか問題が	ある	
痛み/不快感	□ 1.ない	□ 2. 中程度ある	3. 7	トどい	
不安/ふさぎ込み	<ul><li>□ 1. 問題はない</li><li>□ 2. 中程度</li><li>□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる</li></ul>				
一			身性脂肪萎縮症		
家族性部分性脂肪		□ 後天性部分性脂肪萎縮症			
A. 先天性全身性脂肪萎縮症					
1. MRI T1 強調画像にて 腹腔内脂肪組織の消		□ 1. 該当	□ 2. 非該当	□ 3. 不明	
2. 鑑別診断					
以下の疾病を鑑別し 除外できた疾病には		□ 1.全て除外可	□ 2.除外不可	□ 3. 不明	
神経性食思不	振症等の拒食症	□悪性疾患や慢性	悪性疾患や慢性疾患に伴う悪液質		

3. 遺伝学的検査	□ 1. 実施 □ 2. 未実施			
※遺伝子変異部位が具体的に分かる場合は、参考デー	タとして下記に記入			
□ AGPAT2 遺伝子ホモ接合体変異	□ AGPAT2 遺伝子複合ヘテロ接合体変異			
□ BSCL2 遺伝子ホモ接合体変異	□ BSCL2 遺伝子複合ヘテロ接合体変異			
□ CAV1 遺伝子ホモ接合体変異	□ CAV1 遺伝子複合ヘテロ接合体変異			
□ PTRF 遺伝子ホモ接合体変異	□ PTRF 遺伝子複合ヘテロ接合体変異			
□ その他 *その他を選択した場合、以下に記入				
変異				
<診断のカテゴリー>				
Definite: 出生直後より全身の脂肪組織の消失が Aの1.および2.を満たす場合	認められ、			
B. 後天性全身性脂肪萎縮症				
1. MRI T1 強調画像にて全身の皮下脂肪組織、 腹腔内脂肪組織の消失を認める				
2. 鑑別診断				
以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 除外できた疾病には☑を記入する。 □ 1. 全て除外可 □ 2. 除外不可 □ 3.				
□ 神経性食思不振症等の拒食症	■ 悪性疾患や慢性疾患に伴う悪液質			
3. 合併症(脂肪組織の減少・消失が出現する以前)				
□ 皮下脂肪織炎 □ 若年性皮膚筋炎 □ 若年性関節リウマチ □ その他の膠原病 *その他の膠原病を選択した場合、以下に記入				
詳細				
<診断のカテゴリー>				
Definite: 出生時には脂肪組織の異常が認められないが、その後、 全身の脂肪組織の消失が認められ、Bの1.および2.を □ 1.該当 □ 2.非該当   満たす場合 □ 1. 該当 □ 2. 非該当				

C. 家族性部分性脂肪萎縮症					
1. MRI T1 強調画像にて四肢の皮下脂肪組織の消失を 認めること	□ 1.該当 □ 2.非該当 □ 3.不明				
2. 鑑別診断					
以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 除外できた疾病には☑を記入する。	□ 1.全て除外可 □ 2.除外不可 □ 3.不明				
□ 神経性食思不振症等の拒食症	■ 悪性疾患や慢性疾患に伴う悪液質				
3. 遺伝学的検査	□ 1. 実施 □ 2. 未実施				
□ LMNA 遺伝子へテロ接合体変異	□ PPARG 遺伝子へテロ接合体変異				
□ AKT2 遺伝子へテロ接合体変異	□ ZMPSTE24 遺伝子へテロ接合体変異				
□ CIDEC 遺伝子へテロ接合体変異	□ PLIN1 遺伝子へテロ接合体変異				
□ PSMB8 遺伝子ホモ接合体変異	□ PSMB8 遺伝子複合ヘテロ接合体変異				
□ その他 *その他を選択した場合、以下に記入					
変異					
<診断のカテゴリー>					
□ Definite: 思春期前後に四肢の皮下脂肪組織の消(ただし、Cの3.で「その他」のみに					
□ Possible:思春期前後に四肢の皮下脂肪組織の消失が認められ、Cの1.2.のみを満たす場合					
□ いずれにも該当しない					
D. 後天性部分性脂肪萎縮症					
1. MRI T1 強調画像にて四肢の皮下脂肪組織あるいは 頭頸部を含む上半身の脂肪組織の消失を認める	□ 1. 該当 □ 2. 非該当 □ 3. 不明				
2. 鑑別診断					
以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 除外できた疾病には☑を記入する。	□ 1. 全て除外可 □ 2. 除外不可 □ 3. 不明				
□ 神経性食思不振症等の拒食症	■ 悪性疾患や慢性疾患に伴う悪液質				
3. その他					
□ a. 抗 HIV 治療薬の使用 □ b. 骨髄	移植後 C. C3 補体価の低下				

く診断のカナコリース				
□ Definite 1:出生時には脂肪組織の異常は認められないが、その後、四肢の皮下脂肪組織や上半身の脂肪組織の消失が認められ、Dの 1、2、3c の全てを満たす場合				
□ Definite 2:出生時には脂肪組織の異常は認められないが、その後、四肢の皮下脂肪組織や上半身の脂肪組織の消失が認められ、Dの1、2 および3のaまたはbを満たす場合(※抗 HIV 治療薬によるものおよび骨髄移植後のものは薬剤性や二次性であることから対象除外)				
□ Possible:出生時には脂肪組織の異常は認められないが、その後、四肢の皮下脂肪組織や上半身の脂肪組織の消失が認められ、Dの1、2のみを満たす場合				
□ いずれにも該当しない				
症状の概要、経過、特記すべき事項など *250 文字以内	かつ7行以内			
■ 臨床所見				
合併症	□ 1. 該当 □ 2. 非該当 □ 3. 不明			
□ 非アルコール性脂肪肝 □ 黒色表皮腫				
□ 精神発達遅滞 □ 希少月経(女性	この場合) 多嚢胞性卵巣症候群(女性の場合)			
■ 検査所見 *小数点も1文字として記入する				
	□ 1. 実施 □ 2. 未実施			
血中レプチン濃度	μg/mL			
■ 治療その他				
脂肪萎縮症の適応のある薬剤	□ 1.該当 □ 2.非該当 □ 3.不明			

■ 重症度分類に関する事項					
1. インスリン抵抗性 [HOMA−IR (空腹時血糖値 mg/dL × 空腹時インスリン値 μU/mL/405)≥ 2. 6]		□ 1. 該当 □ 3. 不明	□ 2. 非該当		
2. 糖尿病(次の	いずれかが確認される)	□ 1.該当 □ 3.不明	2. 非該当		
□ a. 早朝:	空腹時血糖値 126mg/dL以上 b.75gOGTT で	2 時間値 200mg/d	L以上		
	血糖値 200mg/dL 以上	以上			
の古ひつり	- 佐藤 (佐原 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	□ 1.該当	2. 非該当		
3. 尚インスリン	·血症(空腹時インスリン値 30μU/mL以上)	□ 3. 不明			
		□ 1.該当	2. 非該当		
4. 同中1生相加皿	.症(血中中性脂肪値 150mg/dL 以上)	□ 3. 不明			
重症度評価		•			
上記の1.インスリン抵抗性を認め、2.糖尿病、3.高インスリン血症、		□ 1.該当	□ 2. 非該当		
または4.高中性脂肪血症を有する		□ 3. 不明			
■ 人工呼吸器/	■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)				
使用の有無	使用の有無				
開始時期	開始時期				
離脱の見込み	離脱の見込み				
1. 気管切開孔を介した人工呼吸器種類					
三五六八	□ 2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器				
□ 1. 間欠的施行 □ 2. 夜間に継続的に施行 施行状況		Ī			
↑ 小匠 1.1 4/八八	□ 3. 一日中施行 □ 4. 現在は未施行				

	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	車椅子とベッド間の移動	自立 部分介助	<ul><li>■ 軽度介助</li><li>■ 全介助</li></ul>
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能
生百水化	歩行	□ 自立	□ 軽度介助
	211	□ 部分介助	□ 全介助
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助
医療機関名			
指定医番号			
医療機関所在地			
電話番号			*ハイフンを除き、左詰めて記入
医師の氏名			印
			※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦	年 月 月	日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても 差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、
  - 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12 日健発 1112 第 1 号健康局長通知)を参照の上、 ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。